

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鳥取県

| | |
|---------|-------------------------|
| 行事名称 | 第69回文化財防火デーに伴う火災出動訓練 |
| 実施期間・日時 | 令和5年1月22日(日) 9:30~10:30 |
| 実施場所 | 九品山大伝寺(鳥取県東伯郡湯梨浜町引地509) |
| 主催者 | 湯梨浜消防署 |

■実施内容

訓練の想定

不審火により九品山大伝寺から出火。引地地区住民による初期消火と文化財である中将姫像(段ボールで作ったみなし文化財)の持ち出しを行い、湯梨浜消防隊及び湯梨浜町消防団が出場し、建物の消火活動を行う。

訓練の内容

引地区長による火災発見、通報を実施。(実際に119番通報)湯梨浜消防隊到着後、重要物品(模擬)の搬出。消防署、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

引地区長(1名):119番通報、重要物品の搬出

引地地区住民(15名):訓練見学

湯梨浜町消防団(20名):放水訓練、訓練安全管理、交通整理

湯梨浜消防署(9名):放水訓練、全体統括、訓練安全管理、交通整理

特に工夫した点

境内に消火栓が1基あるが、その他の消火栓は大伝寺から遠く、水利不便な建物であるため、消防団3隊による長距離中継隊形を実施。

問題点・課題

引地地区内の道路は狭いため、消防車の通行が困難な所もあり、利用できる消火栓は限られている。境内に消火栓が1基あるが、火勢によってはそこに部署できない可能性もある。そうすると常備消防も長距離中継隊形になるということを考慮する。また、消防団から中継送水を受け、ポンプ運用しなければならない可能性もあり、消防団との連携も求められる。

その他

多くの引地地区住民に訓練見学していただいたことで、消防活動の広報ができ、災害時の活動に対して理解していただけた。また、消防団も多く参加してもらい課題等が確認できたと考える。今後は、消防団に対しての教育も実施していきたい。(主にポンプ運用)

訓練風景

